

平成28年度

第3回木更津市史編集委員会

日時 平成29年 3月27日(月)

午後3時00分から

場所 木更津市役所朝日庁舎会議室F

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育部次長あいさつ
4. 議題

木更津市史編集基本構想及び基本方針の一部改正について

(別表4『木更津市史』刊行計画)

5. その他 報告事項
6. 閉 会

1 木更津市史編集基本構想及び基本方針の一部改正について

※別表4『木更津市史』刊行計画

(改正前)

別表4 『木更津市史』刊行計画

※ ー ー ー は、事前調査および、経過観察調査。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	
他自治体市史編集状況調査	■																						
木更津市史編集基本構想の策定	■	■																					
市史編さん室設置	■	■																					
市史編さん室の解散			■																				
部長・部会委員の選定			■																				
部会の設置			■																				
市史調査協力員募集・登録			■																				
『市史研究』																							
自然編(総論)																							
自然編(資料編)																							
史料編1(考古編1)																							
史料編2(考古編2)																							
史料編3(古代・中世編)																							
史料編4(近世編1)																							
史料編5(近世編2)																							
史料編6(近現代編1)																							
史料編7(近現代編2)																							
史料編8(指定文化財編)																							
通史編1(原始古代編)																							
通史編2(中世編)																							
通史編3(近世編)																							
通史編4(近代編)																							
通史編5(現代編)																							
民俗調査報告書1～9																							
民俗編(総論)																							
民俗・芸能デジタルコンテンツ作成																							
目録・索引1～4(通史・史料編)																							
Web版作成																							
刊行物数(Web公開も含む)				1			1	3	1	3	2	1	3	2	1	2	3	9					

※刊行物は『木更津市史研究』を除く。

(改正後)

別表4 『木更津市史』刊行計画

※ ー ー ー は、事前準備・調査および、経過観察調査等。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	
他自治体市史編集状況調査																							
木更津市史編集基本構想の策定																							
市史編さん室																							
市史編さん室の解散																							
部長・部会委員の選定																							
部会の設置																							
市史調査協力員募集・登録																							
市史研究																							
公開講座記録集																							
『木更津市史』編さん																							
自然編(総論)																							
自然編(資料編)																							
史料編1(考古編1)																							
史料編2(考古編2)																							
史料編3(古代中世編)																							
史料編4(近世編1)																							
史料編5(近世編2)																							
史料編6(近現代編1)																							
史料編7(近現代編2)																							
史料編8(指定文化財編)																							
通史編1(原始古代編)																							
通史編2(中世編)																							
通史編3(近世編)																							
通史編4(近代編)																							
通史編5(現代編)																							
民俗調査報告書1～9																							
民俗編(総論)																							
民俗・芸能デジタルコンテンツ作成																							
目録・索引1～4(通史・史料編)																							
Web版作成・公開																							
刊行物数(市史編さんだより、デジタルコンテンツは除く)	4	2	3	4	3	4	3	4	3	4	3	3	5	4	4	4	4	5	10	1			

報告事項

1 平成28年度第2回木更津市史編集委員会会議内容

(1) 著作物利用に関する覚書について

第1回市史編集委員会からの継続協議。委員からの意見を踏まえながら了承。

(2) 執筆要項について

第1回市史編集委員会からの継続協議。市史本編（史料編、通史編、民俗編、自然編）及び市史研究の体裁について協議し、市史本編は通史編の体裁を必要に応じて修正することで了承。

木更津市史編集委員会

実施日程	内 容
平成28年度 第1回木更津市史 編集委員会(8月8 日)	議題1 著作権の取り扱いについて 議題2 執筆要項について
第2回木更津市史 編集委員会(11月 7日)	議題1 著作物利用に関する覚書について 議題2 執筆要項について ②
第3回木更津市史 編集委員会(3月 27日)	議題1 木更津市史編集基本構想及び基本方針の一部改正について

2 木更津市史編集部会

(1) 部会の設置

平成29年4月1日から専門の部会として考古部会(6名)、古代部会(3名)、中世部会(4名)を設置する予定。

(2) 活動状況

部 会 名	近世部会	部会長名	小関 悠一郎
平成28度の活動計画	木更津地区資料収集調査 市内石造物調査 千葉県文書館収蔵資料調査 富津市菱田家旧蔵資料調査、同資料の整理・撮影(今年度終了予定)。 上記作業を踏まえた、各地区悉皆調査計画の策定。		
平成28年7月から 平成28年12月まで の実施内容・進捗状況	金田地区資料所在確認・収集調査(於金田公民館) 千葉県文書館収蔵資料調査(鎌足地区関係) 富来田地区資料収集調査(於田川・鈴木家) 市内石造物調査 既調査資料データ入力、請西神谷家墓所調査(終了)、		

	請西藩主林家墓所調査（市原市龍溪寺、調査中） 富津市菱田家旧蔵資料調査、同資料の整理・撮影（終了、史料所在確認調査実施時および資料編の編纂時に参考資料として利用予定）。
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	資料整理の作業を実施する環境が整った場所の確保。 継続的に史料整理・翻刻作業に従事できる人員の確保が必須である。
平成 29 年 1 月から平成 29 年 3 月までの調査等予定・見込み	金田地区の資料調査（金田公民館訪問、および地区内の目録化済史料の現状確認調査の開始） 富来田地区鈴木家の資料調査（史料の搬出および下張り剥がし作業） 鎌足地区の資料調査（鎌足公民館訪問、地区内資料調査の開始） 市内石造物調査 既調査資料データ入力の継続、請西藩主林家墓所調査（市原市龍溪寺）、墓石予備調査の実施（遺存状況等の実地確認）

部会名	近現代部会	部会長名	池田 順
平成 28 度の活動計画	<p>(1)木更津市立図書館収蔵の旧中郷村役場文書、旧鎌足村役場文書などの目録作成、撮影資料の選定と撮影</p> <p>(2)金田公民館収蔵の旧金田村役場文書、家文書の撮影資料の選定と撮影</p> <p>(3)金田小学校収蔵資料の借用、撮影資料の選定と撮影</p> <p>(4)中郷・鎌足地区の資料調査</p> <p>(5)聞き取り調査</p> <p>(6)歴史的建造物の実地調査</p> <p>(7)旧千葉県史料研究財団が撮影しプリント済みの木更津市役所文書（千葉県文書館所蔵）の借用と複写</p> <p>(8)潮見庁舎倉庫に保管されている木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影</p> <p>(9)新聞資料の収集</p>		
平成 28 年 7 月から平成 28 年 12 月までの実施内容・進捗状況	<p>(1)旧鎌足役場文書の撮影資料の選定と撮影は終了。旧中郷村役場文書の撮影資料の選定と撮影は終了。</p> <p>(2)旧金田村役場文書の撮影資料の選定と撮影は 9 割程度終了。金田公民館収蔵の家文書の撮影資料の選定と撮影は未着手。</p> <p>(3)金田小学校収蔵資料の撮影資料の選定と撮影は終了。</p> <p>(4)鎌足地区の実地調査及び富来田地区の実地調査を実施した。</p> <p>(5)木村敏夫氏と池田久子氏の聞き取り調査を実施した。</p> <p>(6)渡邊部会員を中心に各地区の歴史的建造物の実地調査を実施中。京屋商店・田川鈴木家・はまだや商店の実測調査を行った。</p> <p>(7)～(9)実施していない。</p> <p>当初の活動計画にはなかったが、次のような調査や資料収集を実施した。</p> <p>(10)千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に関する資料の調査・撮影を行った（3 割程度終了）。</p> <p>(11)袖ヶ浦市郷土博物館収蔵の木更津市域に関する資料の調査・撮</p>		

	<p>影を行った（9割程度終了）。</p> <p>(12)木更津高等学校収蔵の校史資料中、コピー資料を借用し、撮影を終了。</p> <p>(13)（旧）京屋資料の目録作成と撮影を終了。</p> <p>(14)木更津一小資料の撮影資料の選定と撮影を行う（5割程度終了）</p>
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の実地調査による資料収集の活動があまり成果をあげられていない。地区の実地調査を効果的に実施するためには、各地区における資料の保存状況に詳しい方々や、その地域の歴史を学んでいる研究グループなどとの協力・連携を深める必要がある。 ・聞き取り調査を行いたい方々をリストアップし、聞き取りを積極的に実施する必要がある。 ・潮見庁舎倉庫保管の木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影を行うためには、千葉県文書館収蔵の撮影・プリント済みの木更津市役所文書の利用が不可欠であるので、早急に文書館と交渉し、借用の手続きをとっていただきたい。
平成29年1月から平成29年3月までの調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・木更津市立図書館収蔵の山崎家文書、長沢文庫などの目録作成、撮影資料の選定と撮影を行う。 ・田川鈴木家資料の目録作成と撮影を行う（終了の見込み）。 ・木更津一小の撮影資料の選定と撮影を行う（終了の見込み）。 ・千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に関する資料の調査・撮影を行う（次年度も実施する必要がある）。 ・鎌足地区の実地調査を実施する。 ・富岡公民館収蔵の旧富岡村関係資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影を行う（終了の見込み）。 <p>“金のすず”収蔵のはまだや資料の調査を行う。</p>

部会名	民俗部会	部会長名	和田 健
平成28度の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・木更津地区中心とした民俗事例トピック確認調査、史資料確認調査 ・金田地区を中心としたトピック確認調査、史資料確認調査 ・29年度の全体調査に向けた研究会の実施 ・29年度全体調査体制の整備 		
平成28年7月から平成28年12月までの実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・木更津地区公民館活動に関わる調査（和田）7月 ・金田地区中島を中心とした漁撈習俗調査（島立他）9月、11月 ・木更津地区を中心とした民俗芸能の調査（田村他）7月、9月 ・木更津地区、金田地区以外の優先調査地区の検討を考える研究会の実施（和田）9月 <p>それぞれの進捗成果の割合を数値では示し難いが、全体調査の体制を作る上では3割程度という見込みで、やや遅れ気味である。</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・今期（平成28年7月～12月）は十分な現地での聞き取り調査に時間を費やせなかったが、既存の史資料を整理し、データとして共有する作業は行えた。しかし十分に次年度調査対象地のトピック抽出にまで至っていない。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査に関わる人材を多く確保する必要があるが、民俗調査に関わる実施体制の整備が手探りのまま時間を要してしまった。現在のところ大学、大学院生だけでは定期的な調査を行う体制を組むのは難しく、市民参加者の講習を含めて聞き取り調査者の養成を行う体制整備が必要である。部会長が早急に方針を決めて行動しなければならない課題である。 ・木更津、金田以外の調査地のみならず、優先的に行うべき地区について検討が必要である。研究会を通じて富来田地区や鎌足地区を先に行った方がよいかと感じたが、要検討事項として記しておきたい。
平成 29 年 1 月から 平成 29 年 3 月まで の調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学で行っている定期的な調査者勉強会を継続する。2 月に 2 回、3 月各 1 回を予定。 ・各部会員の調査活動を集約する合同研究会を実施。 ・引き続き木更津地区、金田地区の調査を実施

部 会 名	自然部会	部 会 長 名	山 田 真
平成 28 度の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野 浸透実験池の水質調査 盤洲干潟の植生域の経年変化の調査 ・地学分野 市域における下総層群のテフラ鍵層の所在調査を行う。 ・植物分野 中央博との合同調査、未調査地域の現地調査 自然度の高い地域の季節を変えての調査 ・動物分野 各人の専門分野に従い、現地調査のデータ整理と追加調査を行う。 文献調査については、文献目録と種リスト作成を念頭に活動する。 		
平成 28 年 7 月から 平成 28 年 12 月まで の実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野 浸透実験池の水質調査 盤洲干潟後背湿地の植生（ヨシ）域変化の経年変化の資料、写真調査 ・地学分野 下総層群下部（地蔵堂層・藪層・上泉層）について、地質柱状図、写真撮影等ほぼ完了。 ・植物分野 中央博との合同調査を毎月一回行い、29/183メッシュの植物リストを作成した。 ・動物分野 昆虫については、成田はバッタ類、相澤はチョウ・トンボ類を主とする現地調査を行った。田村は鳥類の現地調査を継続した。また、合同調査として8月19日に小櫃川河口干潟の浸透実験池の調査を行った。 		
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野 水質調査に関しては少なくとも年 4 回程度の調査が必要な為、継続して行う必要がある。 干潟の植生経年変化の調査はまだ進んでいない。使用ソフトウェアの検 		

	<p>討は済んでいるので、今後速やかに進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地学分野 上部層分布地域の下見を行ったが、この地域は市街地化が進み、露頭がほとんどないためかなりの困難が予想される。 • 植物分野 人員不足のため中央博との合同調査以外の活動ができていない。調査員の増員が求められる。 • 動物分野 文献調査が遅れていたが、12月より開始し、昆虫類全般についての資料は整いつつある。文献調査をどこまで進められるかは不明だが、現地調査と文献調査相互の取りまとめを分類単位ごとに行う。その形式と分担者の決定が懸案である。
<p>平成 29 年 1 月から 平成 29 年 3 月までの 調査等予定・見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境分野 浸透実験池の外濠であれば難なく採水できるため、外濠に関しては定期的な採水を行う。 盤洲干潟後背湿地の植生(ヨシ)域変化の経年変化の資料、航空写真による調査を行う。 • 地学分野 上部層(清川層・木下層・姉崎層など)のテフラ鍵層の調査・発見につとめ、可能な限り記載する。 • 植物分野 中央博との合同調査及びそのための予備調査を2月、3月に各一回ずつ行う。植物リストの形式を検討する。 • 動物分野 現地調査・分類同定作業を継続しつつ、文献調査を検討する会議を動物班で持つ。

3 平成29年度木更津市史編さん事業計画

(1) 冊子の発行

『木更津市史研究』創刊号

『木更津市史編さん事業公開講座記録集』平成26～28年度版

『木更津市史編さんだより』第2号

(2) 木更津市史編さん事業公開講座

(3) 市史編さん室の設置検討

第3回木更津市史編集委員会 出席者名簿

開催日時：平成29年3月27日(月) 午後3時00分～

会 場：木更津市役所朝日庁舎 会議室F

	氏名	専門分野等	出欠状況
1	かねこ かおる 金子 馨	郷土史	出席
2	すぎやま しげつぐ 梶山 林継	考古学、神道学	出席
3	いけだ しのぶ 池田 忍	中世史・美術史・ジェンダー史	欠席
4	かわと たかし 川戸 貴史	中世史	出席
5	じつかた ゆうすけ 實形 裕介	近世史	出席
6	みうら しげかず 三浦 茂一	近代史	出席
7	しまだて りこ 島立 理子	民俗学	欠席
8	なりた あつひこ 成田 篤彦	自然（動物生態学）	出席
9	いしい よしゆき 石井 良幸	郷土博物館金のすず館長	出席
10	やまぐち よしかず 山口 芳一	企画部次長	出席

(敬称略・順不同)

出席者：8名